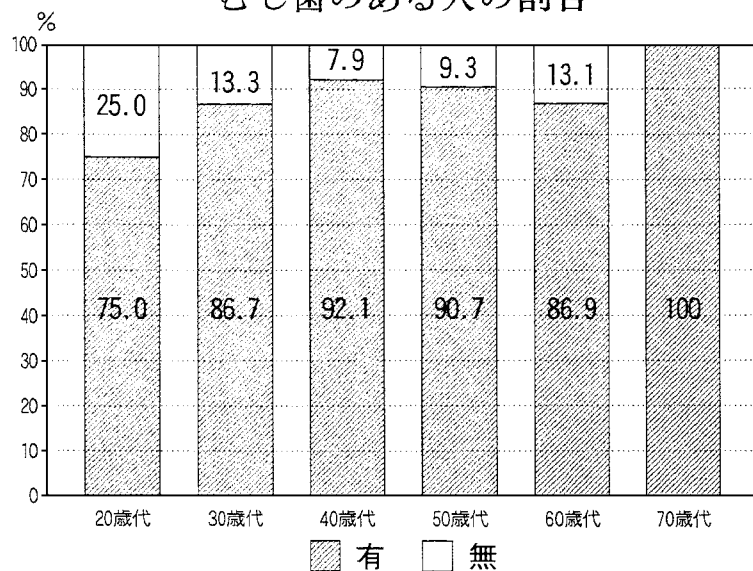


歯の

平成5年度 成人歯科検診より

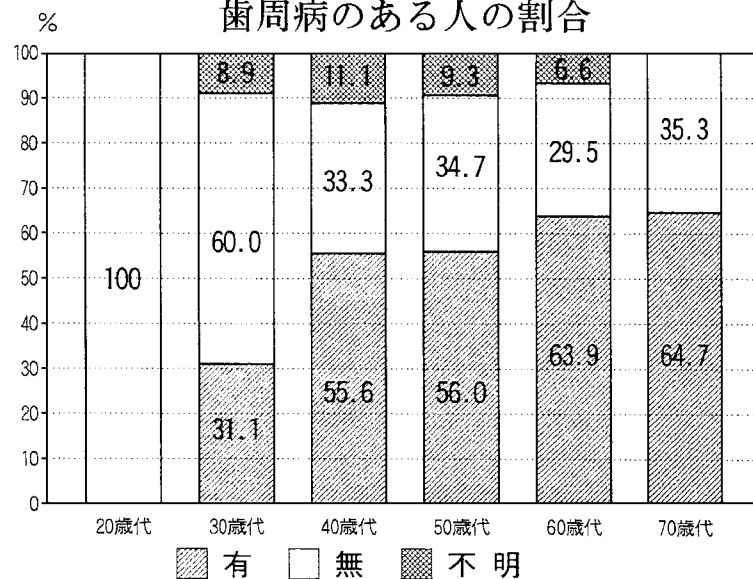
むし歯のある人の割合



ほとんどの年齢で八割以上がむし歯（未処置歯、処置歯、喪失歯を含む）があります。未処置歯は少ないものの年齢とともに喪失歯が増えています。

おとなの
八割以上がむし歯

歯周病のある人の割合



歯周病は年齢とともに増えています。特に四十歳を過ぎるころからの増加が気になります。これは四十歳を過ぎるころから歯周病で歯がぐらぐらし、歯を抜かなくてはならなくなることを示唆しています。

四十歳を過ぎるころから
二人に一人が歯周病

進めよう「八〇二〇運動」

八十歳で二十本の歯を残そう

二十歳頃は二十八〜三十二本の歯を持っているのに、多くの日本人は四十歳すぎから急に歯が失われはじめ、八十歳ではわずか四本しか残りません。これは歯ぐきの病気で歯がゆらぎ、抜かなくてはならなくなるからです。

病気の原因は歯垢

歯をささえている歯周組織（歯肉、セメント質、歯根膜、歯槽骨）の病気の原因は歯垢と、歯垢が固まった歯石です。

ブラッシングが一番

歯垢を歯につけないためには、ブラッシングが一番です。

*よい歯ブラシで

*毎回三分間以上

*一本一本ていねいに

*歯と歯ぐきの境もきちんと

以上の事を注意してみがきます。

治療は早期に

むし歯や歯ぐきの病気も早期に治療すれば歯は抜けません。

いつまでも丈夫で長持ちさせて八十歳で二十本の歯が残るよう、自分の歯を大切にしましょう。

